

かわまたホーム ほほえみだより

発行
平成21年3月1日
第13号

安全・安心・ゆとり

川俣ホームは、利用者の主体性と自主性を尊重し、人間としての尊厳に根ざした介護を進めます。

川俣ホームは、家族・地域社会との連携を密にし、あたたかい家庭的環境を築きます。

早起きは三文の得

颯爽とした体操のポーズをとってくれているのは、今回表紙の菅野咲子さん。「オハヨー！」と元気に手を挙げ、毎朝一番に顔を見せてくれます。川俣ホームに来てからの朝の体操は、一度も欠かした事はありません。

私達職員もそんな咲子さんの姿に、いつも元気をもらっています。

「早起き体操1、2、3♪」



とくよう

節分



鬼は外！ 福は内！
！と言いながら、豆まきをして「邪気」を払い、福を呼び込みました。本年も、良い年でありますように。



今年の川俣ホーム
利用者は年男1名、
年女3名でした。
(2月3日節分時)

新年会



うまくつけるかなあ～



ノコッタ！ノコッタ！

1月 特養大ホールにて新年会が開催されました。利用者みんなでもちつきを行い、新年のお祝いを楽しく過ごしました。

アニマルセラピー

来園していただいている「フィールアニマル（代表・近藤サト様）」の皆様は、福祉施設のボランティア慰問を行っている団体です。川俣ホームでは毎月第3月曜日に来ていただいています。

アニマルセラピーには、動物とのふれあいを通して自然と手を伸ばす、表情を引き出すなどの効果があると言われています。

いつも来てくれる、グレートピレニーズ（写真左下）のランちゃんです。ご利用者の皆様は、毎月ランちゃん達に会える日を心待ちにしています。



リリーちゃん はいオテ!!

川俣ホームの いちおし



「レクリエーションは元気の源♡」

「さあ～今日は体操するよ～」と大きな声を張り上げる。耳が遠い方もいらっしゃるからみんなを注目させるのも大変！「〇さ～ん今日は何日？」「〇さ～ん元気かい？」「〇さ～ん寒くないかい？」みんなに一言ずつ声掛けして始まります。なかなか思うように動かない手足だけれど職員の必死の体操にみんなも一生懸命ついてきてくれます。

毎日ぬり絵、折り紙、歌、体操といろんなことに職員と共に挑戦していますが職員も皆さんに楽しんで頂けるよう工夫しています。その時に必ず気をつけていること…それはみんなにまんべんなく声掛けすること、説明はとっても簡単にする、指先から頭までしっかり使うこと、声を出して笑ってもらうこと、そして何より大事なものは元気が一番!!



体操は職員のオリジナル☆



力作のお面勢ぞろい

「動かさないと身体は錆びる。笑う門には福来たる。」常に笑顔での声掛けで利用者様のハートをがっちりつかんで、さあ、今日も元気に玄米ニギニギ体操だ～。

デイサービスの アルバム

1月～2月



新年会

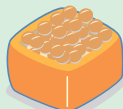
福笑いで今年一番の初笑い!!
こんなに上手に顔が完成しました。

職員が毎日日替わりで、赤鬼青鬼に扮しました。

節分



昔を思い出し、
大張り切り!!
「ほ～れ。鬼は外。
福は内!」
「鬼は外 福は内。」



無料おためし体験

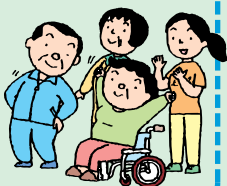
無料

※お付き添いのご家族も
体験できます!

その他詳細については、
当センターまでお問い合わせ下さい。

☎565—2881

実施中



家族介護教室

11月9日(日)
デイサービスセンターにおいて初めて、家族介護教室を行いました。

「認知症の方の心の声を聞いてみませんか?」ということで、スタッフが認知症高齢者の役と家族役になり、寸劇を行いました。



何度も同じことを聞く認知症高齢者とお嫁さんとのやりとりの場面

お母さん、
朝ごはんはまだかい?

出かける為に着替えを手伝う息子さんとの場面

今日はなんだか寒いんだよ。
この服でいいから。
着替えたくなーんだ。



デイサービスからのお知らせ

家族介護教室に参加して頂いた方より「わかりやすくて良かった」や「自分に置き換えてみて参考になりました」など多くの参加者の方から好評でした。
今後も家族介護教室を実施予定です。

帰りの時間



終了時間を迎えても、名残惜しく、おしゃべりや歌を唄い、なかなか席を立つことができません。

毎回楽しいひとときを過ごしています。



インフルエンザ対策として

○感染経路

主に飛沫感染。鼻水などで汚染された手、器物を介する感染もある。

○特徴

インフルエンザウイルスはいろいろな亜型がある。

流行するのはA型で抗原変異を起こすためワクチンによる予防が難しい。

B型は変異を起こさず、散発的な発生で終わる。

C型による感染は少ない。

○潜伏期間

1～2日

○症状

かぜ症候群の中でもっとも強い全身症状と呼吸器症状を示す。頭痛、筋肉痛が始まり、発熱、悪寒戦慄、関節痛が続く。通常3～4日ほどで自然に軽快する。まれに肺炎や細菌の2次感染を引き起こす。

○対抗手段

ワクチンの接種。部屋の湿度、湿度管理（乾燥を防ぐ）・流行期には特に手洗い、手指消毒とうがいの励行。
感染防止のためにも、マスクの着用が望ましい。

ソフトバレーボール大会に参加しました

済生会川俣病院主催による「第3回地域医療・福祉施設親善ソフトバレーボール大会」に、川俣ホーム職員クラブより2チーム、この度初参戦してきました。結果はワザヨシVer.1チームがBブロックの第1位に輝き、Ver.2チームも同ブロック第2位となりました。来年は全体1位を目指し、もっともっと頑張るぞ！



(財)中央競馬馬主社会福祉財団
(社)日本馬主協会の助成により
厨房器具(電磁調理器)を
購入しました



平成二十一年一月二十八日に標記の両団体に申請をしていた助成事業により、電磁調理器等が当川俣ホームの厨房内に納入されました。この機器の導入で、今後は経費の削減と利用者の方々に対して、今まで以上に安心・安全な食事が提供できる様になります。誌面上ではありますが、両団体に対して心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

門松を寄贈していただきました

新年を迎えるにあたり、小神の安斎正義様、昭子様ご夫妻より、門松一對を寄贈していただきました。

玄関前に堂々と構えた門松により、施設もピリリと引き締まり、おかげさまで素敵な年越し、年明けを過ごすごとができます。本当にありがとうございます。ありがとうございました。



ハイビジョン液晶テレビを寄贈していただきました

入所者の高橋スイヨ様ご家族、高橋菊彦様より、デジタルハイビジョン液晶テレビを寄贈していただきました。

再来年の地上デジタル放送完全移行に向け、施設としての最初の一步を踏み出すことが出来ました。まずは食堂の皆様に、綺麗な映像を楽しんでいただきます。本当にありがとうございます。



車いす取得を目指して プルタブ寄附のお願い

ドラム缶一杯にプルタブを貯めると、車いすが貰えるのをご存知でしょうか？

この度川俣ホームでは、車いす取得を目指し、プルタブを貯めるためのドラム缶を、玄関ホール自動販売機脇に設置いたしました。個数はいくつでも構いません。皆様の善意をお待ちしております。



編集後記

新年最初のほほえみだより、お楽しみいただけましたでしょうか。来年度からは号数を1つ増やし、紙面も変えつつ、より皆様に川俣ホームをアピール出来るよう、頑張っていきたいと思っております。今後ともご感想やご支援のほど、よろしくお願い致します。

川俣ホームボランティア

「かがやき隊」輝きたい！募集中